

阪神カウンセリング・ラボ ニュースレター

2025 7月号



人の存在は「小宇宙」

私は若いころ小学校の教師をしており、「東大や京大に入ることを目指す教育では、日本の将来が懸念される。子どもの主体性を大切にして、世界に通用する子どもたちを育成する教育であってほしい」という理念に基づいて仕事をしていました。そこからの転職で、精神科の病院に勤めることになりました。心理療法の仕事に就くことになったとき、「心理療法とはどういう仕事を学ぶために、先生を招いて勉強させてほしい」と管理者にお願いしました。そこで紹介していただいた先生が、I先生でした。I先生は、大学で心理学の授業を受け持ち、忙しい中、毎週一回、当時私が勤めていた病院に来て指導してくださいました。多くのことを学びましたが、I先生からの教えで特に強く心に残っていることがあります。

「相談に来られる患者さん（入院患者）は、『小宇宙』だ。フロイトやユングがどれだけ優れた人であったとしても、患者さんをその理論にあてはめて説明してはならない。患者さんも小宇宙、あなたも小宇宙、小宇宙と小宇宙の関わりの中で理解していきなさい。」

I先生との最初の出会いで伝えられた言葉であり、この仕事に向き合う基盤となっています。

私は、その言葉に従って、荒れる患者さんにもその方なりの背景があると思い、カウンセリングを行いました。気に入らないことがあるとすぐに、診察をしている医師に物を投げつけるような行動をとる患者さんがおられましたが、私がカウンセリングする個室では、そのような行動はほぼありませんでした。カウンセリングは小宇宙と小宇宙の関わりだということを常に忘れずに対応した結果だったかもしれません。

何もかもうまくいったということではありませんが、極めて治療困難な方でも、小宇宙と小宇宙との関わりのおかげで「わかるは かわる」瞬間が訪れた時に驚くほどの改善が見られ、患者さんや家族の方々が喜んでくださった経験は、これからも大切にしたいと思っています。

阪神カウンセリング・ラボ 梅田相談室

<https://www.hanshin-cl.com/>

〒530-0014 大阪市北区鶴野町 4-11 朝日プラザ梅田 9階 910

Tel/Fax 06 - 6147 - 2533

E-mail hanshin-c.l@star.ocn.ne.jp

